

平成二十五年年度

適性検査Ⅰ

9:00

}

9:45

〔注意〕

- 1 問題は①だけで問題1から問題4まであり、六ページにわたって印刷してあります。
- 2 解答用紙は二枚あります。受検番号と氏名をそれぞれの決められた場所に記入してください。
- 3 声を出して読んではいけません。
- 4 答えはすべて解答用紙に明確に記入し、解答用紙を二枚とも提出してください。
- 5 答えを直すときは、きれいに消してから新しい答えを書いてください。

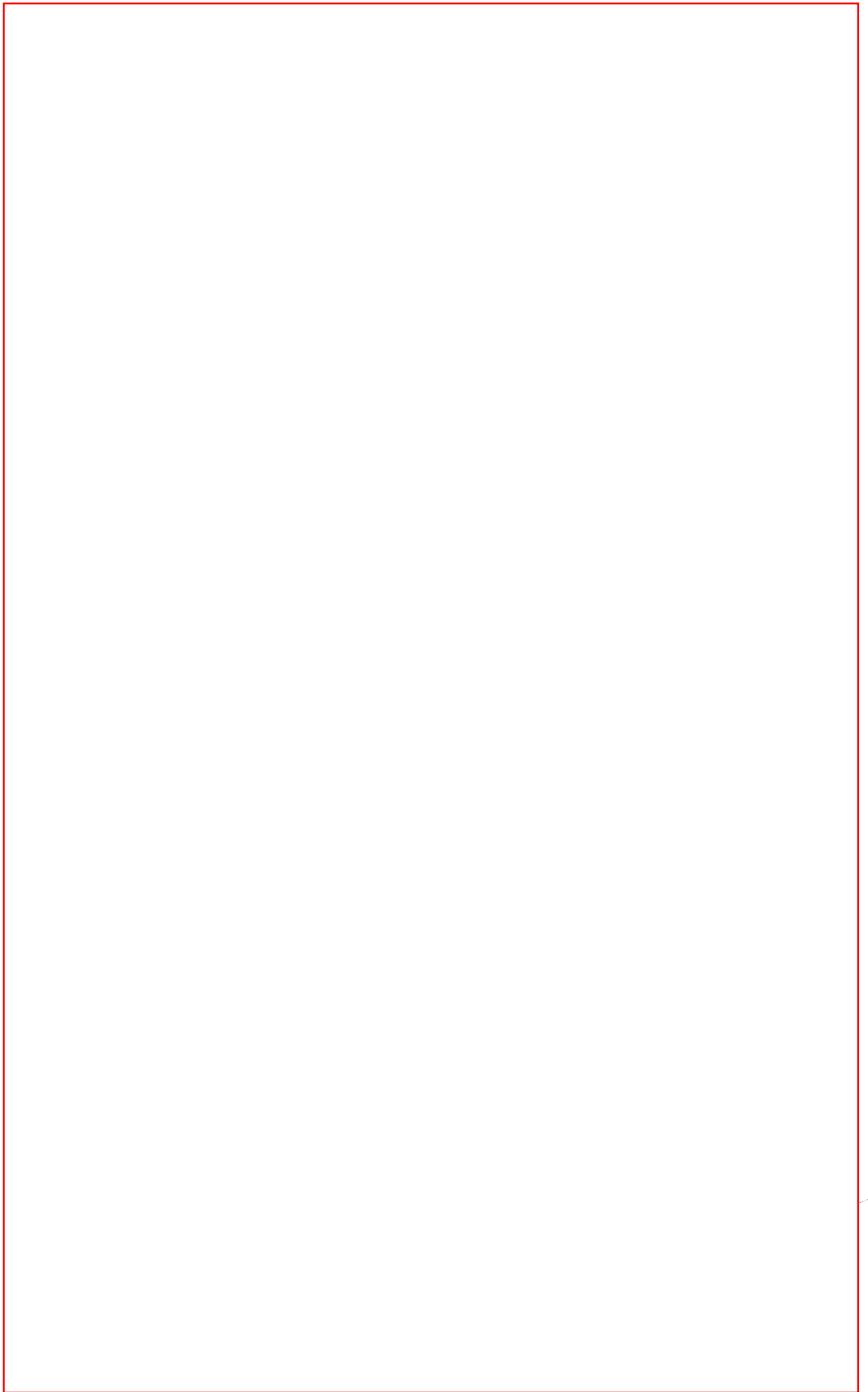
横浜市立南高等学校附属中学校

① みなみさんは、「身の回りの言葉つかい」をテーマとした意見文を書くために、次の文章【ア】【イ】【ウ】を読みました。
これを読んで、あとの問題に答えなさい。

省略

〔注〕

- ※1 違和感・・・しっくりせず、おちつかないちぐはぐな感じ。
- ※2 ユニバーサル・デザイン・・・すべての人が安全で使いやすいように気をくばった設計。
- ※3 おみおつけ・・・みそ汁の丁寧語。
- ※4 敬意・・・相手を尊敬している気持ち。
- ※5 徹頭徹尾・・・はじめからおわりまで考えややり方が変わらない様子。
- ※6 寛容・・・他人の考えをよく受け入れるような心のひろさがあること。
- ※7 婉曲・・・ものの言い方がおだやかで遠まわしな様子。
- ※8 最たる・・・その性質をもっともよくそなえていること。



〔注〕

- ※9 拘泥する・・・いつまでも気にしすぎる事。
- ※10 性癖・・・人の性質のかたよりやくせ。
- ※11 美德・・・人の道にかなったみならうべきよい心や行為。
- ※12 不整脈・・・脈の打ち方が不規則になった状態。
- ※13 同胞・・・祖国が同じである人たち。

【ウ】今から七百年くらい前に兼好法師けんこうほうしという人の書いた文章を現代語に訳やくしたもの

何事も古い世のものに心がひかれる。今風いまかぜのものは、何かひどく下品でいやらしいものになっていくようだ。木の職人が作った美しい道具なども、古風ふるふうなものこそ風情ふうせいがあるのだ。

手紙の内容なども、昔の人が書き損じた手紙の方がすばらしい。普段ふだんの話し言葉ですら、今のものは残念でつまらないものになっていく。昔は、牛車のながえ(※図参照)をもちあげよもちあげよということことを「車もたげよ」、灯とう火かの光を明るくせよあきらめよということことを「火かかけよ」と言っていたのが、今では「もてあげよ」「かきあげよ」と言っている。

(中略・・・他の例が紹介される)

情けないことだと、昔のことに通じた老人はおっしゃっている。

(兼好法師「徒然草」つれづれぐさ第二十二段だにより。現代語に訳した。)

問題1 【ア】において、松平さんと山根さんのやりとりを説明したものととして最も適切なものを次の1から4の中から一つ選び、番号を書きなさい。

- 1 山根さんと松平さんが最近の言葉づかいについて異なる意見をもっており、どちらが正しいかということ話を話合っている。
- 2 松平さんが違和感をもつ最近の言葉づかいについて意見を述べ、それに対して山根さんが別の見方による考えを示している。
- 3 山根さんが見聞きした最近の言葉づかいについて自分の意見や疑問を投げかけ、松平さんがそれに対する答えを話している。
- 4 松平さんが最近の言葉づかいの例を挙げながら自分の言葉の使い方を振り返り、山根さんがそれに対して説明を加えている。

問題2 【ア】の―線部「信じれない」のように言い方が変わる例として挙げられている言葉を、【ア】以外の文章からすべて抜き出して書きなさい。

問題3 みなみさんは、次の四人の述べていることをそれぞれ表にして整理しています。表の空らんには、どのような文が入りますか。あとの1から9の中からふさわしいものをすべて選び、番号を書きなさい。

出てくる人	松平定知 <small>まつだいらさだとも</small>	山根基世 <small>やまねもとよ</small>	加藤秀俊 <small>かとうひでとし</small>	兼好法師 <small>けんこうほうし</small>
述べていること				

- 1 本来は人間関係を示すものである言葉が、利便性によって変化することに抵抗がある。
- 2 言葉にしても道具にしても、新しいものよりも昔ながらのものの方がすばらしい。

- 3 最近の言葉の使い方には、日本の社会や日本人の心情が表れている。
- 4 言葉の使い方や意味には、明確な基準やきまりごとがあるわけではない。
- 5 物事のあいまいさを美的なものとしてとらえて表現するのは、いかにも日本人らしい表現だ。
- 6 言葉の意味や使い方は、それぞれの人の育った環境によって異なってくるものである。
- 7 言葉の変化を許すことは、限りなく乱れていってしまうことにつながるのではないか。
- 8 今の文章に比べれば、昔の失敗した文章の方がよほど良いものである。
- 9 最近の敬語表現は必要以上に丁寧になりすぎているが、様々な国の言葉にも似た傾向がある。

問題4 【ア】【イ】【ウ】の文章を読んで、「身の回りの言葉づかい」というテーマで意見文を書きなさい。ただし、意見文は問題文【ア】【イ】【ウ】で述べられている人の《考え》の中から二つ以上を取り上げ、自分がこれまで学習したことや経験したことと関連させながら書きなさい。

なお、解答用紙には、次の「条件」にしたがい、四百五十字以上五百字以内で書くこと。

【条件】

- 選んだ《考え》とそれに対する自分の意見が明らかになるように、文章を書くこと。
- 「始め・中・終わり」を明確にして文章全体を構成すること。
- 題名は書きません。一行目、一マス下げたところから書くこと。
- 「、」や「。」は一字として数えるなど、原稿用紙の適切な書き方にしたがって書くこと。
- 文字やかなづかいなどに気をつけて、漢字を適切に使い、丁寧に書くこと。

適性検査Ⅰ 解答用紙

1

受検番号
氏名

※には何も記入しないこと。

問題1

※

問題2

※

問題3	
述べていること	出てくる人
	松平定知 <small>まつだいらさだとも</small>
	山根基世 <small>やまねもとよ</small>
	加藤秀俊 <small>かとうひでとし</small>
	兼好法師 <small>けんこうほうし</small>

(完答で正答とする。)

※

※

適性検査Ⅰ 解答用紙

問題 4
身の回りの言葉づかい

受検番号

氏名

500

400

200

※
1

※
2

※
3

※
4

※

※

※には何も記入しないこと。

解答例

1

受検番号
氏名

問題 1

2

問題 2

「もてあげよ」「かきあげよ」

問題 3	
述べていること	出てくる人
1 7	松平 <small>まつだいら</small> 定知 <small>さだとも</small>
3 5 9	山根 <small>やまね</small> 基世 <small>もとよ</small>
4 6	加藤 <small>かとう</small> 秀俊 <small>ひでとし</small>
2 8	兼好法師 <small>けんこうぼうし</small>

60 点

10 点

20 点

30 点

(完) 解答で正答とする。

身の回りの言葉づかい

受検番号

氏名

省略

500

400

200

140 点